

狭山丘陵とは？

埼玉県南西部及び東京都北西部に広がる武蔵野台地のほぼ中央に位置し、東西約 11km、南北約 4km に広がる丘陵地です。東京都の水がめとして造られた多摩湖及び狭山湖の水源林を中心に、雑木林と谷戸が入り組む里山の風景があります。市街地の中に浮かぶ「緑の島」のように残された首都圏を代表する重要な自然環境となっています。

期間中、狭山丘陵各所でイベントが盛りだくさん！
10/1 ~ 11/30 開催！



www.sayamaparks.com/fair/

第 1 部

鬼頭 秀一氏

Syuichi KITOH

東京大学大学院
新領域創成科学科教授
環境倫理学者

新しい枠組みの学術的な環境倫理学・環境哲学を構想。著書に「自然保護を問いなおす—環境倫理とネットワーク」（筑摩書房）など。人間とのかかわりの中での生物多様性や自然再生の理念の構築、歴史的・文化的視点からの環境の評価軸の開発など、広く環境にかかわる「理念」に関する研究を行っている。



基調講演



市民 × 行政

行政の緑確保のための施策をはじめ、狭山丘陵の自然を守るために自治体が力を入れています。また、都立公園では、指定管理者が協働型パークマネジメントにより、年間 8,500 名以上のボランティアや地域団体、来園者と力を合わせて里山の風景づくりを行っています。

西武・狭山丘陵パートナーズ

第 2 部



市民 × 公益法人

1990 年に活動を開始して以来、市民や企業からの寄付金によって土地を購入するナショナル・トラストの手法により、狭山丘陵の里山の保全に取り組んでいます。これまでに丘陵内の雑木林など 20 号地まで取得。市民によるボランティアサークル「トトロの森で何かし隊」がトラスト地の管理作業を進めています。

荻野 豊氏 公益財団法人トトロのふるさと基金 専務理事

事例紹介 & パネルディスカッション



市民 × 学生

早稲田大学所沢キャンパス内に残されている狭山丘陵最大規模の湿地（3ha）を保全し、湿地の生き物の生活と生物多様性を守ることを目的として 2003 年から湿地保全活動を行っています。毎月 1 回学生と市民の協働による湿地や雑木林の保全作業や調査を行っています。

竹内 大悟氏 学校法人早稲田大学 自然環境調査室



地域 × 民間

埼玉県所沢の古民家付き農園。農業体験の他、昔ながらの生活も体験することができます。かまどや囲炉裏、五右衛門風呂などが使える宿泊施設としてだけでなく、古民家を「場」として、住民をつなぐワークショップやイベントを開催し、地域活性化事業に取り組んでいます。

峯岸 祐高氏 corot 代表

【コーディネーター】 佐藤 留美氏 東京の緑を守る将来会議 代表

【締切】 9/13 【定員】 150 名

・FAX、官製はがきにて以下の内容をお知らせください。
・申込み多数の場合、抽選となります。
・締切を過ぎて定員に達しない場合は受付します。

【HP 申込み】 HP から申し込みます。

<http://www.sayamaparks.com/fair/symposium/>

▶ お名前（ふりがな）

▶ 年齢

▶ 所属

▶ ご住所

▶ TEL

▶ FAX

〒

▶ E-mail

懇親会

18:00 より、近隣のお店で懇親会を開催します（会費 3,000 円程度）

▶ 出欠に○をお付け下さい。 出席 ・ 欠席

西武・狭山丘陵パートナーズ

【住所】 〒189-0026 東京都東村山市多摩湖町 3-17-19

イベント事務局（都立狭山公園パークセンター）

【TEL】 042-393-0154

【FAX】 042-397-9467